

第39回岡山県がん診療連携協議会議事要旨(案)

1 日 時 平成30年4月9日(月) 18:00~19:20

2 場 所 岡山大学医学部 管理棟3階 大会議室

3 出席者 59名

4 報告事項

(1) 岡山県

○以下5点について報告があった。

- ・第3次岡山県がん対策推進計画について概要説明があった。
- ・「がん教育」外部講師派遣依頼について、今年度も実施する予定としている。講師の派遣期間について、今年度からは随時派遣可能とする。
- ・がん診療連携拠点病院等における指定要件の見直しについて、6、7月頃には国から改定した指定要件について通知がなされる予定である。本県の指定期間は今年度末まで(岡山医療センターを除く)となっており、指定を更新する場合は10月末までに国へ申請書類を提出する必要がある。
- ・がん相談窓口の紹介について、県ではリーフレットを作成し相談支援センターの周知を図っているが、各病院でも周知をお願いしたい。また、患者会でも相談可能であることを併せて周知いただきたい。
- ・緩和ケア研修会を12月16日(日)、緩和ケアフォローアップ研修会を1月27日(日)に医師会主催で実施予定である。

○岡山済生会総合病院から、「がん教育」外部講師リストについて、新しくするタイミングはいつになるのかと質問があった。

→岡山県から、教育庁から連絡をしてもらうようお願いをする、4月中には新しくすると回答があった。

○岡山大学病院から、「がん教育」外部講師派遣について、具体的にどこに派遣されてどのような講義をされたか、どのような反響があったかということリストにまとめていただきたいと依頼があった。

○社会保険労務士/岡山産業保健総合支援センターから、両立支援事業について説明があった。

1. 岡山産業保健総合支援センターの事業案内

- ・これまでは企業に対して両立支援の体制を整えてもらうようPRを行ってきたが、現状、個別訪問支援、啓発セミナーの申込みは全くない。
- ・企業から従業員の勤務情報の提供があった際には、主治医の意見を求める際の様式例を活用いただきたい。
- ・今後の事業展開として、病院を通じて「個別相談支援」を進めたいと考えている。さらに企業の同意を得て「個別調整支援」を行っていく考えである。

2. 治療と職業生活の両立支援に取り組むうえでの課題

- ・企業に対して法的義務はなく、配慮義務に留まっているため、消極的な企業が多い。
- ・休職期間中の社会保険料の会社負担
- ・長期療養、再発等を考えた場合の社会保険制度面での課題

(2) 事務局・岡山大学病院

○事務局から、平成30年度 各拠点病院から情報提供があった研修会・講演会について報告があり、今後も研修会・講演会の情報があれば事務局へ情報提供いただきたいとの依頼があった。

○事務局から、岡山県がん診療連携協議会HP閲覧統計(H29年度)について報告があった。

○岡山大学病院から、がん診療連携拠点病院等における指定要件に関するワーキンググループについ

て報告があった。

- ・今後の進め方として、4月11日に第11回がん診療提供体制のあり方に関する検討会が開催され、6月中には改定した指定要件が公表される予定である。

引き続き報告があった。

- ・指定要件の見直しのポイントは「がん医療の更なる充実」「病院完結型から地域完結・循環型医療へ」「医療安全の更なる推進」「指定に関する課題の整理」である。
- ・各領域の現行の整備指針と見直し（案）について説明があった。
- ・現行の地域がん診療連携拠点病院の診療機能による細分類案について説明があった。

(3) 作業部会 等

① 地域連携パス部会

○平成29年度岡山県統一版がん診療連携パスの算定実績(H29.4～H30.3集計分)について報告があった。

○乳がんパス「私のカルテ」が配布され、改定に際し協力いただいた関係者に対して感謝が述べられた。

② がん相談支援部会

○2月5日に開催された第35回がん相談支援実務者会議について報告があった。

- ・広報活動について、今年度は瀬戸内市市民公開講座に参加予定。9月のがん征圧月間には一斉パネル展示を実施予定。「県立図書館とことん活用講座」にて講演予定。
- ・がん相談員研修会について、第3回を2月3日に実施。
- ・ピアサポーター研修について、第2回を3月10日に実施。
- ・PDCAサイクルについて、今年度末に相互チェックを行う。相互チェックの方法は岡山大学病院から提案する。

引き続き報告があった。

- ・2018年度 桃太郎がんメディカルカフェ(6/6、9/4、12/6、3/8)

③ 緩和ケア部会

○1月29日に開催された第20回緩和ケア実務者会議について報告があった。

- ・緩和ケア研修会の新開催指針について情報交換を行った。
- ・岡山県では今年度から一斉に新開催指針へ移行する。

引き続き、緩和ケア研修会 e-learning サイトの紹介があった。

○医師以外の全医療従事者が緩和ケア研修会を受講可能となったと情報提供があった。

④ がん看護部会

○1月26日に開催された第47回がん看護部会について報告があった。

- ・「平成29年度岡山県がん看護セミナー」のアンケート結果について報告があった。
- ・「平成30年度岡山県がん看護セミナー」を11月に川崎医科大学附属病院にて開催予定。
- ・がん看護セミナーは今年度で終了し、次年度からは各拠点病院で研修を企画いただく。

⑤ 研修教育部会

○3月5日に開催された第14回研修教育部会について報告があった。

- ・9月10日に開催されたがん化学療法チーム研修について報告があった。
- ・今年度は9月9日に開催予定。内容については、過去に参加した施設に参加いただき、進捗状況や問題点について意見交換をするという案について現在議論されている。

⑥ がん登録部会

○3月16日に開催された第10回がん登録部会について報告があった。

- ・院内がん登録患者にかかる生存確認調査について、岡山市在住の方の予後が把握できないため、岡山県が住民票照会による生存確認調査を実施した。
- ・岡山県院内がん登録報告書2015年版について、どのような情報を公開するのか、ということ

について協議した。

⑦ がん薬剤師部会

- 12月19日に開催された第3回がん薬剤師専門部会について報告があった。
 - ・研修会のためのスライド作成の進捗について報告があった。
 - ・今年度から研修会を行う予定である。

⑧ 歯科部会

- 以下報告があった。
 - ・一昨年から実施している岡山市委託の多職種連携調査研修事業について、過去2年間、研修会を開催した。
 - ・今年度からは岡山県に事業を拡大して活動していく。
- 以下情報提供および協力依頼があった。

当院の医療支援歯科治療部から、がん患者に対して歯科の専門性を持って支持療法を担えるような体制の岡山県全体の底上げを提案した。

岡山県は、がん医療等におけるチーム医療への取組を評価した診療報酬項目を算定した医療機関数が全国的にみて非常に少なく、連携を行う際の歯科医師の受け入れ態勢が確保できていない。

がん医療等における口腔内管理における医療機関間の連携を推進し、よりよい地域医療の達成を実現するため、現在この提案を国に上申している。

本提案が採択された際には県の歯科医師会やがん医療全体の協力が不可欠であるため、岡山県がん診療連携協議会にもご理解、ご協力をいただきたい。
- 岡山大学病院から、グラフに示されているのは医療機関数であり、岡山県の算定件数は少なくないのではないかとの質問があった。
→算定件数についても多くはないと回答があった。

(4) 地域がん診療連携拠点病院・診療病院・推進病院
特になし

(5) その他
特になし

6 協議事項

- ・P D C A部会の発足について
 - 平成29年度都道府県がん診療連携拠点病院 P D C Aサイクルフォーラムで報告があった「がん診療連携拠点病院のP D C Aサイクル」について説明があった。
 - ・第3期がん対策推進基本計画の中で、取り組むべき施策として、「国は、拠点病院等における質の格差を解消するため、診療実績数等を用いた他の医療機関との比較、第三者による医療機関の評価、医療機関間での定期的な実地調査等の方策について検討する」と明記された。
 - ・都道府県レベルでは、都道府県拠点病院が中心となり、P D C Aサイクル確保体制とその実績および診療機能や診療体制、診療実績、地域連携に関する実績や活動状況を協議することが求められているため、会議体を設置する必要があると考える。
- 以上を踏まえ、岡山県におけるP D C A部会の設置に関して確認があり、異議なく了承された。

○都道府県指導者研修について、現在、研修教育部会が開催している「がん化学療法チーム研修」を今後どの部会が開催するのが良いかとの発言があり、相談して決めていくこととなった。

7 その他
特になし

8 次回開催日
・8月頃開催予定、日程は調整が付き次第、連絡。